行革甲子園

～集え全国のイノベーション!!
行革オールスターin愛媛～

瀬戸内しまなみ海道

事例募集

全国の市区町村の創意工夫あふれる取組を発表、表彰する「行革甲子園2020」を開催します。多くのノウハウを共有し、自らの取組に活用していただくことが目的ですので、全国から一つでも多くの事例の応募をお待ちしています。

募集期間 令和2年 **8月7日(金)まで**

事例応募だけでもOK

事例共有のみの参加（審査を希望しない）もOKです。応募のあったすべての取組を、応募団体をはじめ多くの関係機関で共有したいと考えておりますので、先進性や効果の大小に捉われることなく、積極的にご応募いただきますようお願いします。

当日の内容（予定）

- **日時・場所** 令和2年11月13日（金） 12:30～17:00
松山市内にて開催
- **プレゼンテーション** ８団体程度による事例発表
- **特別企画 海外事例の紹介** 調整中
- **審査・表彰式**

※大会終了後、大会参加者（当日参加者、審査員、事例発表者等）による交流会を開催予定です。

前回「行革甲子園2018」の様子

問い合わせ 申込先 愛媛県 総務部 市町振興課 〒790-8570 愛媛県松山市一番町4-4-2
電話 089-912-2216（直通）／FAX 089-912-2209／Eメール g-koushien@pref.ehime.lg.jp

題字：愛媛県立三島高等学校 書道部

「行革甲子園2020」募集要項

～集え全国のイノベーション！！行革オールスターin愛媛～

募集対象事例

市区町村が取り組んだ「行政改革事例」とします。

ここでの「行政改革事例」とは、行政運営や事業実施における「効率化事例」や「効果拡大事例」、「新しい手法の導入事例」などとし、例えば、次のような事例を募集します。

- ●他の自治体との連携による効率化・効果拡大事例
- ●公共施設等の有効活用・効果的なマネジメント事例
- ●民間企業や大学等の知恵・ノウハウ・資金・パワーの有効活用事例
- ●AI、RPA等のICTを活用した働き方改革に関する事例
- ●業務の標準化・見える化等による改善事例
- ●歳入増加や経費削減、組織の見直し事例
- ●住民との協働や住民のネットワーク等の活用事例
- ●新たな手法の導入等による地域活性化事例
- ●Society5.0の実現やSDGs達成に向けたまちづくりに関する事例
- ●その他の先進的・独創的な事例

※これまでの大会に応募した事例でも、その後、取組が拡大等した場合は応募いただけます。

応募方法

・エントリーシート（愛媛県ホームページからダウンロード可能）に必要事項を記入し、Eメールで応募してください。

・事務局にて内容確認後、記入していただいたメールアドレスに「受付完了のメール」を送信いたします。この時点で、申込み完了となります。

・1団体につき、複数の事例を応募いただいても構いません。

【提出先メールアドレス】
愛媛県 総務部 市町振興課 g-koushien@pref.ehime.lg.jp

評価のポイント

「創」「効」「種」の3拍子揃った取組の観点に加え、プレゼンテーションの内容を評価します。

創（そう） 創意工夫あふれる取組か、先進性・独創性があるか

効（こう） 費用対効果の高い取組か

種（しゅ） 他にアイデアの種を提供する取組か（他の自治体に広がる取組か）

プレゼン 取組の意図や内容がよく伝わるプレゼンであったか

審査方法

①1次審査（書類審査）

・応募された取組事例について、複数の審査員にて書類審査を行い、最終審査での発表事例（8団体程度）を選定します。

【外部審査員】（審査員長）小西砂千夫　関西学院大学 教授
（審 査 員）兼平　裕子　愛媛大学 教授
小室　将雄　有限責任監査法人トーマツ パートナー
富澤　由佳　READYFOR㈱ パートナー開発部 地域事業責者
根本　昌彦　株式会社未来戦略研究所 代表取役

・選定結果は、全応募団体に事務局からご連絡します（9月下旬）。

②最終審査（プレゼンテーション審査）

・1次審査を通過した団体にプレゼンテーションを行っていただき、複数の審査員による審査に基づき、グランプリを決定します。

・プレゼンテーションはプロジェクターを使用し発表していただきます。

・最終審査参加に要する旅費については、主催者が負担します。
（ただし、各団体2名以内とし、愛媛県の規程に基づく額等の条件があります。）

表彰

グランプリ　1点（副賞として記念品を贈呈します。）

発表事例は、すべて入賞（優秀賞）として表彰します。

表彰は、審査員長名で行います。（審査は複数の審査員で行い、愛媛県が審査・表彰するものではありません。）

事例の公表

「行革甲子園2020」の開催後、応募のあったすべての取組事例を愛媛県ホームページに掲載し、応募団体をはじめ関係機関と広く共有いたします。

全体スケジュール概要（予定）

1	事例募集	4月1日（水）～8月7日（金）
2	1次審査（書類審査）	8月中旬～9月中旬
3	1次審査通過団体決定・通知	9月下旬
4	「行革甲子園2020」開催	11月13日（金）

これまでの「行革甲子園」について

愛媛県では、県内市町と連携し、平成24年度と平成26年度に「行革甲子園」を開催しました。また、平成28年度からは、対象を全国に拡大して開催しており、「行革甲子園2018」では、47都道府県の117市区町村から141もの創意工夫あふれる事例の応募がありました。これら発表事例等を参考に、類似の取組が他の自治体で多数取り入れられるなど、優良事例の波及効果が認められています。

これまでの応募事例や受賞事例は、愛媛県ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。

行革甲子園　検索